

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	番組制作1（映像鑑賞）	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	放送芸術科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	毎回プリントを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	宮川 佳己	実務経験の有無・職種	有・映像制作業務		
<b>学習目的</b>					
メディアや通信技術の発達にともない、映像による表現能力、創作能力は、今日の時代における文章による表現能力と同様に新しい世紀では社会生活に不可欠なコミュニケーション技能となってきました。この科目を受講する学生には、映像鑑賞を通じて、シナリオ、カメラワーク、録音技術、MA、照明技術、編集技術、美術の力を養い基本的な知識を身につけてもらう事を第一の目的とします。					
<b>到達目標</b>					
知識というものは講義を聴いただけではなかなか身につけません。考える力を養うことです。それは将来、さらに新しい映像メディアが生まれた時に、それらに対応できるように、自ら学び続けていける力をつける必要がある。さらに身につけた知識を自己表現ができる基礎的技能として習得させることを目指します					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	ビデオ、スライドを使って講義を行います。各回ごとにプリントを用意します。プリントの余白にメモを取るか、ノートにメモを取るように努めて下さい。授業中の私語は禁止します。この授業に主体的に参加する学生が、映像を読み取る力を身につけることを目指す。				
注意点	理由のない遅刻、欠席は認めません。社会へ出てからは最低限のルールだからです。授業中の私語、携帯端末等の使用も禁止します。特に私語は講義の進行妨害、他の生徒が講義を受ける事への妨害行為となる事から厳禁です。専門学校は専門知識や技術の習得だけを目的とするものではありません。学生から社会人への移行の場でもあります。社会人としてのマナーや心構えも身につけて欲しいです。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	60%	学期末に試験を行います。成績は試験結果と出席率の総合評価。		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	40%	特に学習態度の悪い者に対してはペナルティーを科す。		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	映像鑑賞(1)	NETFLIX、Hulu配信ドラマなど新しいドラマの形を理解する			
2回	映像鑑賞(2)	ドラマ、小説、アニメ作品を通してメディアミックスを理解する			
3回	映像鑑賞(3)	アニメーション、フルCG、VFX作品を通して最新の映像技術を理解する			
4回	映像鑑賞(4)	小説が原作の映画を通して脚本のしくみを理解する			
5回	映像鑑賞(5)	日本アカデミー賞作品を通して映画の評価、コンテストを理解する			
6回	映像鑑賞(6)	シチュエーションコメディを通して設定、筋書き、仕掛けを理解する			
7回	映像鑑賞(7)	オリジナル脚本の映画を通して映像の読み解き方を理解する(1)			
8回	映像鑑賞(8)	オリジナル脚本の映画を通して映像の読み解き方を理解する(2)			
9回	映像鑑賞(9)	ロングテイク映像を通して最新の撮影技術、編集技術を理解する			
10回	映像鑑賞(10)	1990年代のSF作品を通して普遍的な作品作りを理解する			
11回	映像鑑賞(11)	ベストセラー小説の映像化作品を通してメディア化の難しさを理解する			
12回	映像鑑賞(12)	演劇作品の映像化作品を通してコメディを理解する(1)			
13回	映像鑑賞(13)	演劇作品の映像化作品を通してコメディを理解する(2)			
14回	映像鑑賞(14)	時代劇作品を通して美術セット、描き方を理解する(1)			
15回	映像鑑賞(15)	時代劇作品を通して美術セット、描き方を理解する(2)			